

令和元年度 教員地域貢献活動支援事業(協働型) 成果報告書

課題名	地域限定の主婦層の職住近接モデル創設																
研究者	代表教員氏名	国際教養学部 准教授 三輪 律江															
	事業ユニットの構成(代表者除く)	国際教養学部 准教授 中西 正彦															
提案者	横浜市政策局																
課題	<p>横浜市では、女性の市外勤務や妊娠・出産期の離職割合の高さが問題となっている。継続就業や再就職のためには「職住近接」で柔軟に働ける環境を整えることが必要であり、特に、就労希望を持つ地域の主婦層と人材確保を課題とする中小企業を結びつける機会の創出が検討課題となっている。</p>																
課題解決の方法	<p>上記の課題に対して、産業と居住地が集中する金沢臨海部をモデル地区として次のような取り組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の主婦層を主な対象として、どのような情報が就労意欲を高めるか調査し、それに基づいて産業団地側企業の情報提供(業務内容等)を行う。 ・産業団地側(産業連絡協議会、金沢団地等)と連携し、産業側・住宅地側双方の就労に関するニーズ調査を行い、ジョブマッチングの可能性について検討する。 ・地域拠点(並木ラボ)にて産業団地側の人材募集情報を提供する。これにより自発的なマッチングの状況を調査・分析し、産業団地と住宅地間で有効な情報提供システムの具体的な姿を検討する。なお、この活動を本学が関与するエリアマネジメント協議会の事業の一環として位置付ける。 ・昨年度の成果も踏まえ、市内他地区においてモデル地区の取り組みとその成果の周知を図り、横浜市全体の課題解決に向けた活動の端緒を作る。 																
研究実績報告(スケジュールと内容・成果)	<p>過年度の成果を踏まえ、モデル地区から他地区への展開を進めるため、下記の内容と役割分担にて事業を実施した。</p> <p>①通年：職住近接に向けた企業—住宅地による実走の継続(主体は市大およびエリアマネ協議会として実施) 金沢シーサイドタウン住宅地における産業団地へ求人情報の提供を依頼、地域拠点(並木ラボ)での提供形態を本格始動し、求人情報掲示方法の工夫、設えの変更などを行った。</p> <p>②年度後半：他地区への情報発信と展開検討(市大・政策局の協働で実施) 並木団地での取り組み実績と冊子を活用し、ここまでの本取り組みの概要と成果・課題を他地区への周知と展開を誘発する試みとして、戸塚区、都筑区、港北区でのセミナー開催、対象として想定される地区の企業・近隣コミュニティの意向聞き取りなど、調査・啓発活動に取り組んだ。</p> <p>都筑区：「働くと暮らしをシェアする」企業と就業者への取材を通じて、職住近接ココチャレ～都筑区版パンフレットの作成。 https://webbyoko.com/ilt/2020/03/13069/</p> <p>港北区：2020年12月～2月 大倉山おへそその協力で連続セミナー「子育てとお仕事のおしゃべり会 地元で働くを考える」を3回開催。延べ33人参加。</p> <p>戸塚区：2020年3月 戸塚区役所にて認定NPO法人こまちぶらすの協力で「とつかで働くを考える会」を開催。28名参加。</p>																
連携機関(提案者以外)	産業団地側(産業連絡協議会、金沢団地等)、NPO法人I Loveつづき、株式会社スリーハイ、横浜市都筑区政推進課、大倉山おへそ、男女共同参画センター横浜北、横浜市港北区役所 総務部政推進課、横浜市港北区役所 総務部地域振興課、認定特定非営利活動法人こまちぶらす、男女共同参画センター横浜・フォーラム戸塚、戸塚区役所 地域振興課																
得られた効果及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・他エリアも含め女性の就労ニーズと課題を明確にした。 ・産業団地の情報、特に求人情報提供のあり方の具体的な検討と提供方策が具体的となり、職住近接に向けた企業—住宅地による実走となった。 ・職住近接の認知向上に向け他地区での理解の深化と可能性が得られ、区役所行政やNPO、企業とも連携の足掛かりができた。 																
今後の課題と展開	本事業終了後の継続性。企業-就業者双方にとっての効果検証。																
研究発表(投稿準備中、投稿中、発表予定を含む)	『横浜市立大学論叢』人文科学系列第71巻第3号に投稿中																
研究成果による知的財産権の出願・取得状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th>知的財産権の名称</th> <th>発明者名</th> <th>権利者名</th> <th>知的財産権の種類、番号</th> <th>出願年月日(和暦)</th> <th>取得年月日(和暦)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>該当なし</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					知的財産権の名称	発明者名	権利者名	知的財産権の種類、番号	出願年月日(和暦)	取得年月日(和暦)	該当なし					
知的財産権の名称	発明者名	権利者名	知的財産権の種類、番号	出願年月日(和暦)	取得年月日(和暦)												
該当なし																	